

トリガーアラート:演技・演出など表現方法について

当公演『上演すると〇ぬ戯曲について』は、下記の表現方法を含みます。

〈芝居として〉

- ・大きな声
- ・言い争い
- ・他者の価値観を否定するような言動
- ・叱る／叱られる
- ・殺す／殺される

〈演出として〉

- ・ホラー演出(薄暗い照明や、ノイズ等)
- ・暗転(真っ暗の中、セリフを言う演出があります)
- ・俳優が観客に語りかける
- ・俳優の手足の拘束
- ・血糊(少量)

〈具体的な場面〉

- ・男性の俳優が目隠しをし、手足を拘束された状態で椅子に座った状態で観客に語りかけるシーンがあります。拘束は自力で外せるものを使用しています。
- ・俳優が舞台上で刃物(ノコギリ)を振り上げるシーンがあります。刃は身体に当たっても切れないものを使用しています。
- ・暗闇の中、男性の首が切られ、叫ぶシーンがあります。血糊の使用があります。

あらすじや脚本の内容はSNSやホームページ上にも掲載されております。  
各種ご確認いただけますと幸いです。

~~~~~

作品創作の過程で、表現内容・方法に関しては吟味し、作品性を伝えるために必要であると判断し、その表現内容・方法を選択しております。  
また、すべての演出はディレクター・キャストの合意をもって行っております。